

令和7年度 熊本県立大学 総合管理学部 総合管理学科
一般選抜試験問題（前期日程） 小論文 出題意図

近年、注目度が増している食品ロスについて、食べ残しなどのわかりやすくイメージできるものだけでなく、食料問題との関連や、長いサプライチェーンにおける他の形態のロスなどを考慮し、広い視点から議論できる能力を問います。

これまでの経緯や形態については日本語文で、近年の動きや問題点については英文による統計資料を、加えて消費者側の意識の世代間の違いを示す材料を提供した上で、今後の食品ロスをどう考えていくべきかを問います。

問題1

- (3) 情報量の多い文章から、挙げられているフードロスの分類や背景を的確に整理できているかを問います。また、後の問題のために、フードセーフティの観点からは一定量のフードロスの発生がやむを得ないものであることの意識づけも兼ねています。

問題2

- (2) 文章の前半で述べられている目標に対する現状と、それを踏まえた政府の次の方針が正しく読み取れているかを問います。

問題3

- (2) 世代間で認知や意識の違いが存在することを、表から正しく読み取れるかを問います。また、後の問題のために、必ずしも全ての世代で同じ取組が有効ではないという意識づけも兼ねています。

問題4

資料1から資料3までの多くの情報を整理し、自分の考えを論理的に構成できる能力を問います。単に資料中の単語を挙げてそれが望ましいと述べるだけでなく、資料はきっかけとして使用した上で、なぜそのように考えたのかの明記を求めています。